

Agilent 1200シリーズ Infinity ELSD

- 20年以上に渡るELSD（蒸発光散乱検出器）の歴史を持つアジレントの技術でデザインされています。
- ペルチェ冷却のエバポレーションチューブの採用により、室温以下（**10℃まで**）の使用が可能です。熱に不安定な化合物の検出に威力を発揮します。
- クラス最小の設置スペースです。ラボのスペースを有効に活用できます。サイズ W200×D450×H415mm
- 低拡散設計と高速データ出力により、ハイスループット分析に対応します。
- LEDを光源に用いており、ランプは長寿命です。



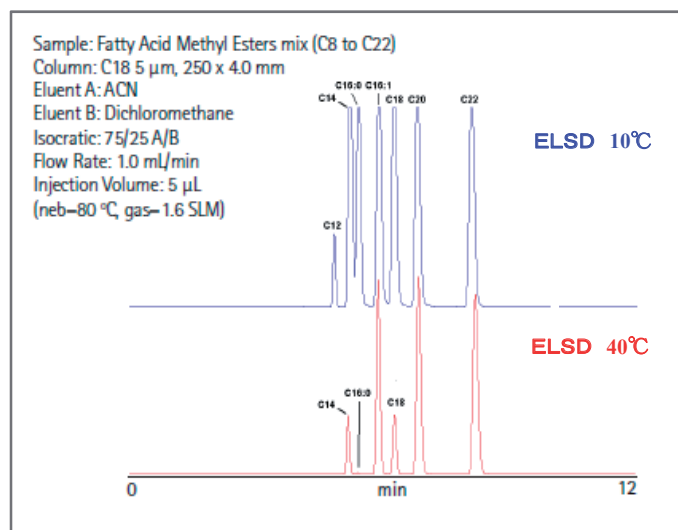
ELSDの検出原理



ELSDの検出原理は以下の3ステップからなります。

- Nebulisation
- Evaporation
- Detection

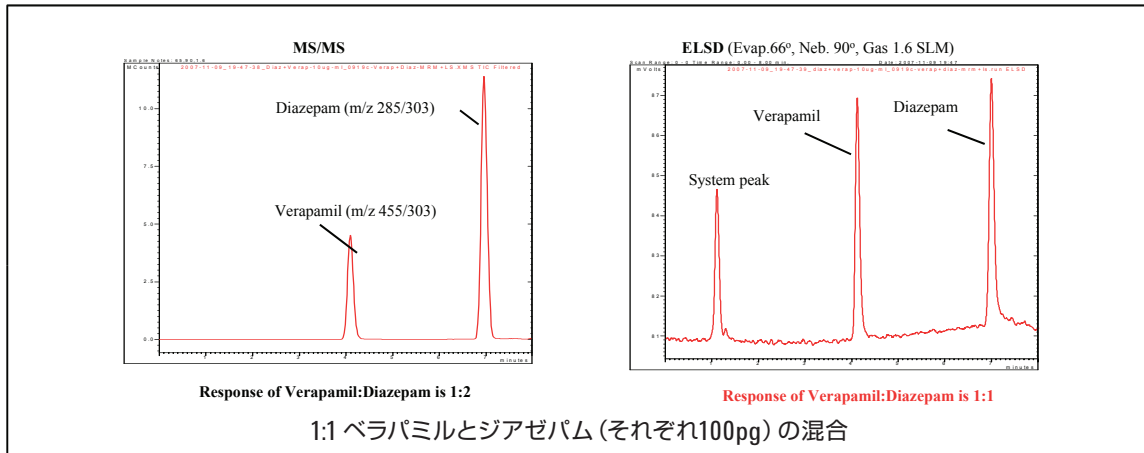
ELSDは低沸点化合物を除きほとんどすべての化合物を検出することができます。UV吸収の弱い化合物高感度で測定可能で、グラジエント分析にも対応します。また、溶離液を除去した後検出するしくみであるため、保持の弱いピークの検出や、UV吸収のある移動相の使用も可能です。さらに、化合物の構造に関係なく絶対量に応じて均一なレスポンスが得られるので、純度分析に利用したり、LC/MSを補完する検出器としても有効です。



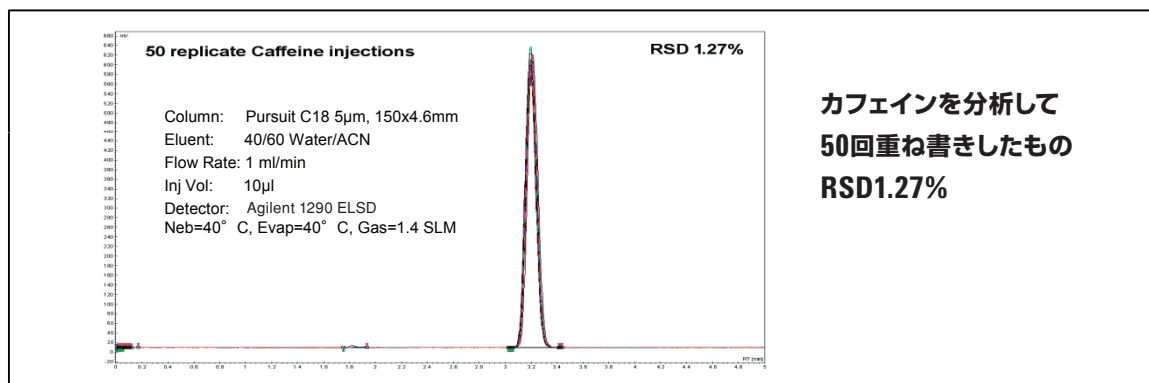
C16以下のFAME分析は1290 Infinity ELSDを用いて10℃で測定することにより測定の幅が広がります。上の例ではラウリン酸メチルエステル（C12）まで検出されています。

Agilent 1200シリーズ Infinity ELSD

LC/MSとは異なり、均一なレスポンスを示します。



アジレントのELSDは、新しいネブライザーの採用により優れた再現性を示します。



システム	定 価
Agilent 1290 ELSD (冷却機能あり)	4,036,000円～
Agilent 1290 ELSD (冷却機能なし)	3,130,000円～
Agilent 1260 ELSD	2,451,000円～

※価格は税別金額です。据付調整費は含まれております。

アジレント・テクノロジー株式会社

本社/〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1
●カスタムコンタクトセンター ☎0120-477-111

※仕様は予告なく変更する場合があります。

www.agilent.com/chem/jp

copyright © 2012 Agilent Technologies
All Rights Reserved.

本書の一部または全部を画面による事前の許可なしに複製、改変、翻訳することは、著作権法で認められている場合を除き、法律で禁止されています。

Printed in Japan, November 1, 2012
5991-1445JAJP